

2026年3月30日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀  
(コード番号: 4582)  
問合せ先 IR室 (TEL. 03-5472-1125)

**多発性硬化症を対象として NIH/NINDS との BCV 共同研究開発契約 (CRADA) を 3 年間延長  
- 進行性多巣性白質脳症に続き、脳神経変性疾患領域での開発を推進 -**

シンバイオ製薬株式会社 (以下、シンバイオ製薬) は、米国国立衛生研究所 (NIH) 傘下の米国国立神経疾患・脳卒中研究所 (NINDS) との間で締結している、多発性硬化症に関する共同研究開発契約 (CRADA: Cooperative Research and Development Agreement) を 3 年間延長したことをお知らせします。

当社はこれまで NIH/NINDS の研究チームとともに多発性硬化症を対象として EB ウイルス (EBV) を直接標的とする新たな治療法の開発を進めてまいりました。これまでの共同研究の成果は Journal of Clinical Investigation (JCI) に発表したとおり、BCV は EBV に対して高い抗ウイルス活性を有し、再活性化した EBV の活性を強く抑制することが確認されています。さらに、マーモセットを用いた非臨床試験の結果からも、今後は臨床試験を通じてヒトでの有効性・臨床における可能性を検証する段階に入っています。

一方で、多発性硬化症は慢性疾患であることから、治療薬の実用化に向けてより適した投与経路・製剤の開発が重要となり、現在、当社はこれらの開発を加速し、臨床応用に向けた開発を進めております。

また、当社は進行性多巣性白質脳症 (PML) を対象とした NIH/NINDS との CRADA のもとですでに臨床試験を開始しており、JCV に対して高い抗ウイルス活性をもつ BCV のヒトでの Proof of Concept (PoC) の臨床試験を実施しております。今後、PML で得られる知見も活用しながら、多発性硬化症を含む脳神経疾患領域における BCV の研究開発と事業化をさらに推進してまいります。

代表取締役社長兼 CEO 吉田文紀のコメントです。「当社は、多発性硬化症を対象として NIH/NINDS との CRADA を更新し、臨床試験に向けた共同研究をさらに推進してまいります。NIH/NINDS とは、進行性多巣性白質脳症 (PML) に関しても CRADA を締結し、すでに臨床試験を開始しております。今後も、NINDS の研究チームとともに BCV の開発を着実に進め、脳神経疾患領域における事業展開を加速してまいります。」

なお、本件が 2026 年 12 月期の連結業績に与える影響はありません。

以上

## 注記

### 米国国立衛生研究所・国立神経疾患・脳卒中研究所（NIH/NINDS）との共同研究開発契約（CRADA）

シンバイオ製薬は、2023年3月に米国国立衛生研究所（NIH）傘下の国立神経疾患・脳卒中研究所（NINDS）と共同研究開発契約（CRADA）を締結し、BCVについて、抗EBウイルス作用の可能性を検証するとともに、EBウイルス関連多発性硬化症に対する抗ウイルス療法としての有用性を支持する実験的エビデンスの取得を目的とした共同研究を開始し、今回の更新により、本CRADAの契約期間は2029年3月まで延長されました。本共同研究の成果は、2026年1月に権威ある学術誌「Journal of Clinical Investigation」に公表しており、BCVがEBVに対して高い抗ウイルス活性を有し、再活性化したEBVの活動を強く抑制することが確認されています。

### EBウイルスと多発性硬化症の関連性

近年の研究により、EBウイルス感染は多発性硬化症の発症と強く関連していることが示されています。従来の治療法がB細胞を広く除去することにより症状の改善を図るのに対し、BCVはEBウイルス感染陽性のB細胞を選択的に阻害する可能性があり、病因に直接アプローチする治療法として期待されています。

### Journal of Clinical Investigation

本誌はアメリカ臨床研究学会が発行する、世界的に権威ある医学雑誌の一つです。掲載される論文は、その分野の第一線の専門家による厳格な査読を経ており、医学研究に大きな影響を与えています。「Journal of Clinical Investigation」に公表された内容については、2026年1月29日付プレスリリース「多発性硬化症治療のIV BCVによる新たなアプローチ 米国NIHとの共同研究成果 Journal of Clinical Investigation 誌に発表」をご参照ください。（プレスリリースはこちら：<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS70963/97ba56f7/3902/44ca/b842/565024ce0b64/140120260129540893.pdf>）

### 3本の治療領域を柱としたBCVの事業戦略

シンバイオ製薬は2019年9月、BCVのグローバルライセンスを取得して以来、3つの治療領域において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として世界最高レベルの研究機関と共同研究を進めてきました。現在、対象疾患領域として、第1の柱である造血幹細胞移植後のウイルス感染症領域をはじめ、第2の柱として血液がん・固形がん領域、第3の柱として脳神経変性疾患領域の3治療領域を中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることによりBCVの事業価値の最大化を目指しています。